

WORK!DIVERSITY実証化モデル事業 ダイバーシティ就労推進地域プラットフォーム会議

第1回 雇用施策検討会

2024年11月26日(火)10:00~12:00



Sustainable
Support

目次

- I. 本会議の趣旨について
- II. 参加企業について
- III. 本日のスケジュールについて
- IV. 基調講演「人手不足の打開策とダイバーシティ就労への貢献」
- V. ミニレクチャー「障害者雇用と就労困難者支援の現状と展望」
- VI. グループディスカッションについて

I.本会議の趣旨について



Sustainable
Support

1-1. 就労困難者にまつわる現状について

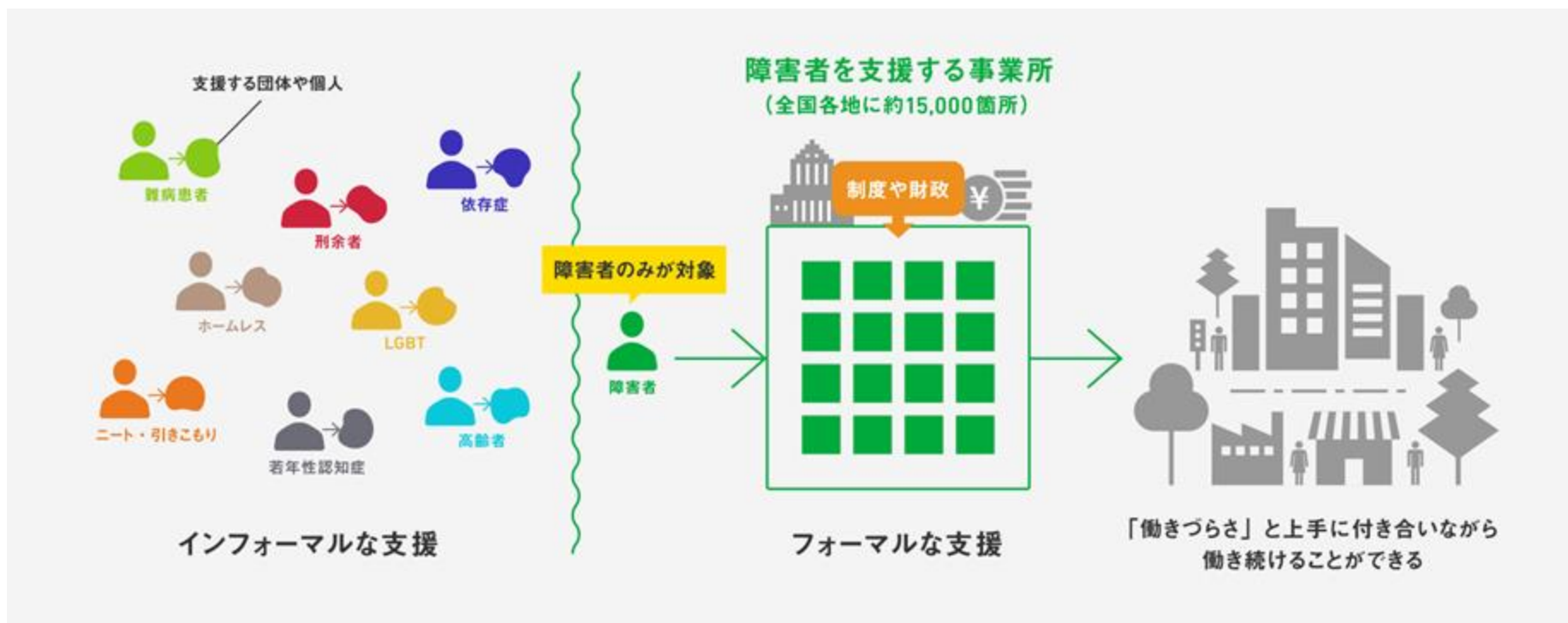


- 日本財団が2018年に実施した調査によると、生きづらさ・働きづらさを抱える方々が延べ1500万人におよぶことが判明。
- ただし単純な積上による算出で1500万人となっており、中にはすでに働いている方、重複した要因にわたる方がありとされるため、その**実数は約600万人**と推計されている。
- 一方で、労働人口は減少の一途を辿っており、**2030年には労働力不足が644万人**に達すると推計されている。

資料出所：パーソル総合研究所・中央大学「労働市場の未来推計2030」

1-2. 現行の制度について

- 手厚い就労支援を受けることのできる障害者の就労支援事業所は全国に15,000箇所
- しかし、障害福祉の支援対象外である就労困難者はサービスを受けることが出来ない
- 就労困難者が受けられるフォーマルな支援が存在せず、インフォーマルな支援は地域差がある状態

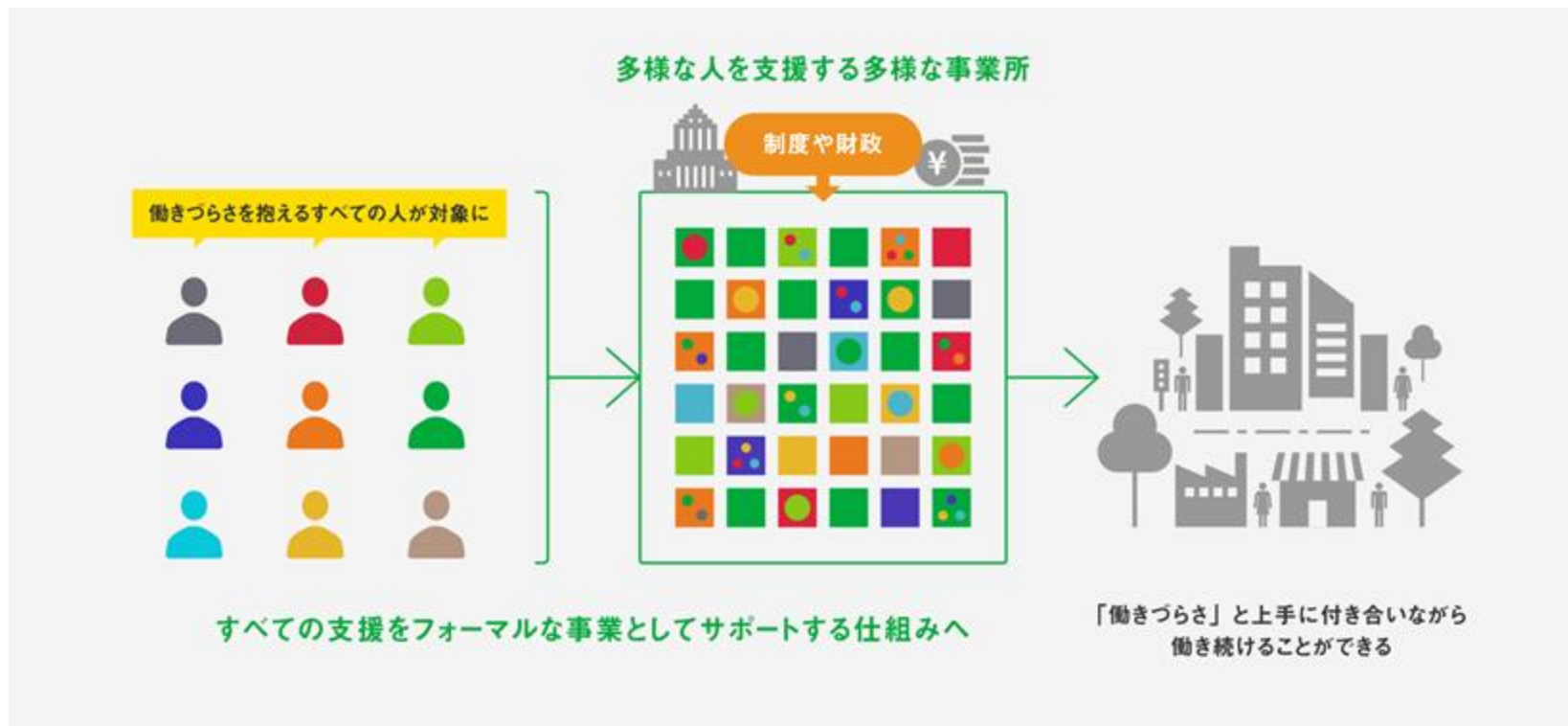


出典：日本財団「WORK!DIVERSITY」公式WEBサイト

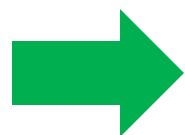
“障害者”しか支援が受けられない

1-3. WORK!DIVERSITY実証化モデル事業のねらい

- 本事業では、すべて就労困難者が丁寧な就労支援を受けられる仕組みをつくることを目指す
- 既存の障害者就労支援施設を活用し、就労支援を提供することで多様な困難者の就労を実現する



出典：日本財団「WORK!DIVERSITY」公式WEBサイト



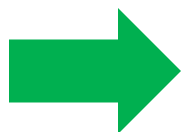
多様な人が利用できる制度に

1-4. 取り組みの変遷

- 2018年から日本財団による調査・企画の構想がスタート
- 検討会を重ね、2022年9月より3都市で実証化モデル事業がはじまる
- 現在、6都市において、本モデル事業の有効性を検証している

WORK! DIVERSITY プロジェクトに取り組む全国のエリア

岐阜市を含む**全国6都市**で
モデル事業を実証中



多様な就労困難者の支援・雇用を全国へ

1-5. 地域でワークダイバーシティを推進するための試み

■ ダイバーシティ就労推進地域プラットフォーム会議の実施

- 効果的な就労支援を行うため、岐阜市において「ダイバーシティ就労推進地域プラットフォーム」の構築を目指している。
- プラットフォーム構築にむけて関係者とともに連携会議を実施してきた。
- 各種支援機関・教育機関・企業/団体とともに就労困難者に対する支援や求められるネットワークの在り方について検討を重ねた。

【開催実績】 全5回
(2022年11月/3月、2023年7月/11月/2月)



1-6.プラットフォーム構築にむけた課題について

- これまでのプラットフォーム会議の実施を通じて見えてきた課題を整理した。
- これまでの実践を通じて「働きづらさを抱える人たち」の像や必要な支援の在り方については具体的にになった
- 一方で、企業側の巻き込みが十分でなく「働きづらさを抱える人たち」の受け皿となる職場や仕事の課題や在り方については十分に検討がなされていない
- 上記は岐阜市だけの課題ではなく、ワークダイバーシティの制度化にむけた動きにおいても、企業側の声が十分反映されていない状況にある。

「働きづらさを抱える人たち」の活躍の場を広げるために
企業に対してどのようなサポートがあると良いか
現実的かつ具体的に検討する場を設けたい

1-7. 雇用施策検討会の発足

- 雇用施策検討会の狙いとゴールを以下に記載した。

ねらい

- 働きづらさを抱える多様な方々が活躍できる雇用を生み出すことを目指す
- そのために、どのような取り組み・サポート環境が必要かを明らかにすることを目的とする

ゴール

- 岐阜市をはじめとするステークホルダーに対し、企業支援に関する提言を行う

1-8.ダイバーシティ就労推進地域プラットフォーム会議の全体像

- プラットフォーム会議の全体像について、以下の通り整理を行なった。

ダイバーシティ就労推進地域プラットフォーム会議

雇用施策検討会

(企業向け)

企業における就労困難者の
雇用拡大について検討

就労支援検討会

(支援機関向け)

就労困難者へより良い支援を
実施するための対応策について検討

岐阜におけるワークダイバーシティを促進

1-9.雇用施策検討会の今後の流れ

- 本分科会の今後の計画ならびに各回のゴールイメージについて以下に整理した。

第1回
2024.11

ゴールイメージ

- ワークダイバーシティに関する理解・認識を揃える
- ワークダイバーシティを進める上での課題の洗い出し

第2回
2025.03

ゴールイメージ

- 現状の課題に対する分析を深める
- 解決策の方向性が決定する

第3回
2025.05

ゴールイメージ

- 岐阜市への提言内容について決定する

2025年夏頃：岐阜市への提言

(参考) 提言内容のイメージ

- すでに制度化されている障害者の雇用促進のための諸施策について、就労困難者を対象とした、同様の支援策が実施されるように提言していくことを想定

岐阜市独自の障害者雇用含む トライアル雇用に対する奨励金

国のトライアル雇用助成金を利用した事業者が引き続き3ヶ月以上雇用継続した場合に、一人10万円の奨励金を岐阜市が交付

障害者雇用を行おうとする 企業に対する助成金

障害者の雇用を促進するために、企業が障害者雇用に関する専門的な相談や助言を受けるときに、その費用の一部を助成する制度

障害者雇用企業支援センター

障害者を雇用する企業に対して支援を行う専門機関。企業が障害者の雇用に関する課題を解決するためのアドバイスや、雇用環境の整備、障害者に適した仕事の設計などをサポートする

Ⅱ. 参加企業について



Sustainable
Support

Ⅲ. 本日のスケジュールについて



Sustainable
Support

本日のスケジュール

10:00 オープニング

開会の挨拶・趣旨説明

10:15 基調講演 「企業におけるワークダイバーシティの重要性」

一般社団法人 日本福祉協議機構 代表理事 濱野剣 氏

10:55 ミニレクチャー 「障害者雇用と就労困難者支援の現状と展望」

障害者を含む困難者に関する制度上の基本的な知識について

11:05 グループディスカッション 「就労困難者を企業で受入れる際の課題・障壁」

小グループに分かれ、就労困難者を企業で受け入れる際の課題や障壁について議論します

11:55 エンディング

閉会の挨拶

IV. 基調講演

「人手不足の打開策とダイバーシティ就労への貢献」



Sustainable
Support

V. ミニレクチャー

「障害者雇用と就労困難者支援の現状と展望」



Sustainable
Support

VI. グループディスカッションについて



Sustainable
Support

グループディスカッションについて

テーマ①

- 現在の自社における課題や困りごととは何か
- 就労困難者を受け入れるうえでどういった障壁があるか

テーマ②

- 企業としてどういった取り組みができるか
- 就労困難者を受け入れるうえでどういったサポートがあると良いか

さいごに

第2回のご案内について

- 2025年3月頃の開催予定
- 支援機関を交えて、課題分析・対応策の検討を実施

アンケートのお願い

アンケートへのご協力をお願いします。

QRコードからオンラインでも回答いただけます。

